



10月の花：月下美人

事務所便り

令和3年10月号

特定社会保険労務士・行政書士 重村 勝弘
重村行政労務管理事務所
ご連絡先：〒235-0021
：横浜市磯子区岡村 7-8-15-102
電話・FAX：045-754-3412 携帯：070-5542-1466
E-mail：shigemura.office@etude.ocn.ne.jp



●不動産業界に倒産の波「灰色のサイ」に世界が警戒 中国恒大集団

バブルに沸いた中国の不動産業界に倒産の波が押し寄せ始めた。バブル抑え込みを狙った当局の締め付け強化で、資金繰りに行き詰まる開発業者が続出。経営危機に追い込まれた業界大手の[中国恒大集団](#)に対しては、世界的な経済危機の火種となる可能性が取り沙汰されている。重大ながら見過ごされてきたリスクを意味する「[灰色のサイ](#)」として、金融市場で警戒が高まっている。[恒大](#)の抱える負債は6月末時点で約1兆9700億元(約33兆円)と巨額で、中国の国内総生産(GDP)の約2%にも相当する規模。大半は取引先への買掛金や住宅購入者の前払い金だが、[破綻](#)すれば内外に影響が広がるのは避けられない。既に恒大の振出手形が拒否され、下請けの資金繰りがまひし始めたとの話もある。中国では現状、「金融システムへの波及は当局が全力で阻止する」との見方が大勢だ。ただ、「これだけ信用を失った会社の物件を買いたいという消費者はいない」(上海の40代会社員)との声も聞かれ、恒大が事業を継続できるか先行きは厳しい。

●台湾がTPP加盟を正式申請…参加巡り中国との駆け引き激化へ

台湾の行政院(内閣)報道官は、台湾が22日、環太平洋経済連携協定([TPP](#))への参加を正式に申請し、全加盟国に支持を求めたことを明らかにした。

台湾は今年2月、TPPへの参加意向を表明していた。国際社会での活動拡大を図る台湾としては、中国をけん制する狙いもあってTPPへの参加を強く望んできた。

しかし、今月16日、中国政府がTPP参加の正式申請を行ったと発表した。台湾の[蔡英文](#)(ツァイインウエン)政権はこれを受けて、正式申請を急いだとみられる。TPPの参加には全加盟国の同意が必要で、先に中国の加盟が実現すれば、台湾の参加は事実上不可能となるからだ。

今後、中台のTPP参加を巡る駆け引きが強まる

ことが予想される。早期加盟の見通しが立っていない中国が台湾の先行参加を阻止するため、加盟各国に対する外交的な働きかけ



を強める可能性もある。

台湾にとっては、2011年の[東日本大震災](#)以来、日本の5県産食品の輸入を禁止している問題の解決が課題となる。TPP参加には解禁が必須とみられているが、台湾では反対論が非常に強い。蔡政権は難しい対応を迫られそうだ。

日本政府関係者は「台湾は(TPP参加国と)普遍的価値を共有している」としたうえで、「台湾はTPP加入に向けて関係法令を整備するなど準備を進めてきており、国有企業への[補助金](#)や電子商取引、労働などTPPで定められているルールを巡る問題点はあまりないだろう」との認識を示した。

●韓国大統領、朝鮮戦争の終戦宣言を改めて呼び掛け 国連演説で

韓国の[文在寅](#)(ムン・ジェイン)大統領は21日、国連総会



で演説し、[朝鮮戦争](#)の終結に向けた決意を改めて表明した。同大統領は「朝鮮戦争の終戦宣言に向け、改めて国際社会の協力を要請したい。韓国・北朝鮮・米国の3カ国、あるいはそれに中国を加えた4カ国が共同で、朝鮮戦争の終戦を宣言することを提案する」と述べた。北朝鮮はかねてから休戦協定に代わる正式な終戦宣言を求めており、文氏も就任以来、北朝鮮との関係構築に積極的に取り組んできた。文氏は終戦宣言が北朝鮮の非核化を促すとしているが、米国は北朝鮮が核兵器を放棄することが先決だと主張している。

●過剰に増強する韓国海軍、真の「敵」は日本？

潜水艦から弾道ミサイル発射実験や、軽空母建造の計画も行っている韓国が、対地攻撃用長距離巡航ミサイルや弾道ミサイルまで装備する大型潜水艦を配備するのみならず、将来的には原子力潜水艦や軽空母を配備する目的は何なのだろうか。

日本の「独島侵攻作戦」に対抗する韓国シナリオ

2021年2月11日付けの東亜日報によると、「韓国国防部が独島(竹島)をめぐる日本の自衛隊との仮想戦闘シナリオを作成し、国会で非公開報告を行った」との報道があった。シナリオの内容は、「第1段階は、独島上陸の環境を整えるため、サイバー戦を使って“独島封鎖”を主張し、主力部隊の上陸前に派遣する先遣部隊を独島の東島に浸透させる。第2段階では、イージス艦1隻と潜水艦2~4隻、F-15などの戦闘機や早期警報統制機、電子情報収集機などを動員し、制空・制海権を確保する。第3段階は、おおすみ級(8900トン級)輸送艦や輸送ヘリコプターのチヌークヘリコプター(CH-47)、ホバークラフト(LCAC)を投入し、東島に2個小隊を侵入させる」というものだ。一方、韓国軍はこれに呼応して、F-15Kなどの戦闘機を出動させ、世宗大王級イージス艦、玄武弾道ミサイルなどを総動員して独島を守る計画だという。

この仮想シナリオについて、韓国国防部は、「自衛隊出身の兵器研究家の三鷹聡が2012年12月に日本の雑誌に寄稿した仮想の独島奪還作戦を参考にした」ことを明らかにしている。三鷹聡氏は民間の軍事研究者だが、雑誌『軍事研究』の中で、

「筆者は実際には奪還作戦など絶対に不可能と
思っている。本稿はIF戦記ですらない壮大な絵空
事である。アメリカの同盟国同士で隣国でもある
日韓が武力衝突すれば、国際社会における影響
は計り知れない。指摘したいのは、竹島紛争でア
メリカが日本側を支援してくれることは将来に渡
っても絶対に無いということである」と、むしろ竹島
問題での冷静な対応を求めている。

韓国国防部が既に10年ほど前に作成された、
一個人の趣味的な仮想シナリオを理由にして、過
度の危機感を国民に与え、必要以上の軍備拡張
を狙うことは、日本に無用な警戒心を抱かせるだ
けではなく、米国にも疑念を与えることになるの
ではないか。

今回の北朝鮮の長距離射程巡航ミサイルと弾
道ミサイルの発射実験は、韓国に本当の敵は誰
かを改めて知らしめることとなった。日米両国と中
国・北朝鮮の狭間で揺れる韓国は、今後、どのよ
うな舵取りをしていくのだろうか。日本と韓国にと
っての最大の国益は、北朝鮮と中国を封じ込めて、
北東アジアの平和と安定を図ることだということ
を忘れてはならない。

●米軍制服組トップ、アフガン撤収は「戦略面 では失敗だった」上院公聴会

米軍制服組トップの[マー
ク・ミリー](#)統合参謀本部議
長は28日の上院軍事委



員会公聴会で、アフガニスタンからの米軍撤収を
巡り「(米国人らの退避という)輸送面は成功だっ
たが、戦略面では失敗だった」と証言した

米中央軍のケネス・マッケンジー司令官も同じ
公聴会で、個人的見解とした上で「2500人の駐
留維持を主張した」とも述べた。

[バイデン](#)大統領は米軍から駐留継続の進言を
受けたことを「覚えていない」と否定していた経緯
があり、共和党議員は整合性を厳しく追及した。
これに対し、[オースティン](#)国防長官は「彼らの意
見が大統領に届き、検討されたことは確かだ。進
言の内容は明らかにしない」と述べるにとどめた。

ミリー氏はまた、国際テロ組織の活動が1~3年
で復活する可能性があるとし、「(イスラム主義勢

カ) [タリバン](#)は昔も今もアル・カーイダなどテロ組織との関係を断っていない」と指摘した。

米軍の撤退はまさに敗走と言ってもよいような混乱の中で行われ、米国の威信を大いに傷つけた。